

／ みんなで考える ／

現 宮前区役所等施設・用地の活用に向けた

市民検討ワークショップ について

（結果概要）

市民検討ワークショップについて



(1) ワークショップの概要

●目的

様々な立場・年代の宮前区民の視点から、「宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題・ニーズの整理」を行い、「施設・用地の活用のアイデア」を出し合うことで、「（仮称）宮前区役所等施設・用地の活用に関する基本方針（以下、活用基本方針）」の策定につなげる。

●開催概要

日付：令和5年11月12日（日）、12月16日（土）、
令和6年 2月 3日（土）、3月 2日（土） の全4回

時間：13:30～16:30（各回同じ）

場所：宮前区役所4階大会議室（各回同じ）

●参加者の募集

・無作為抽出（20人程度）と公募（20人程度）を併用し、小学校5年生以上の宮前区民40人程度を募集。

●募集結果・参加者概要

募集結果：48名

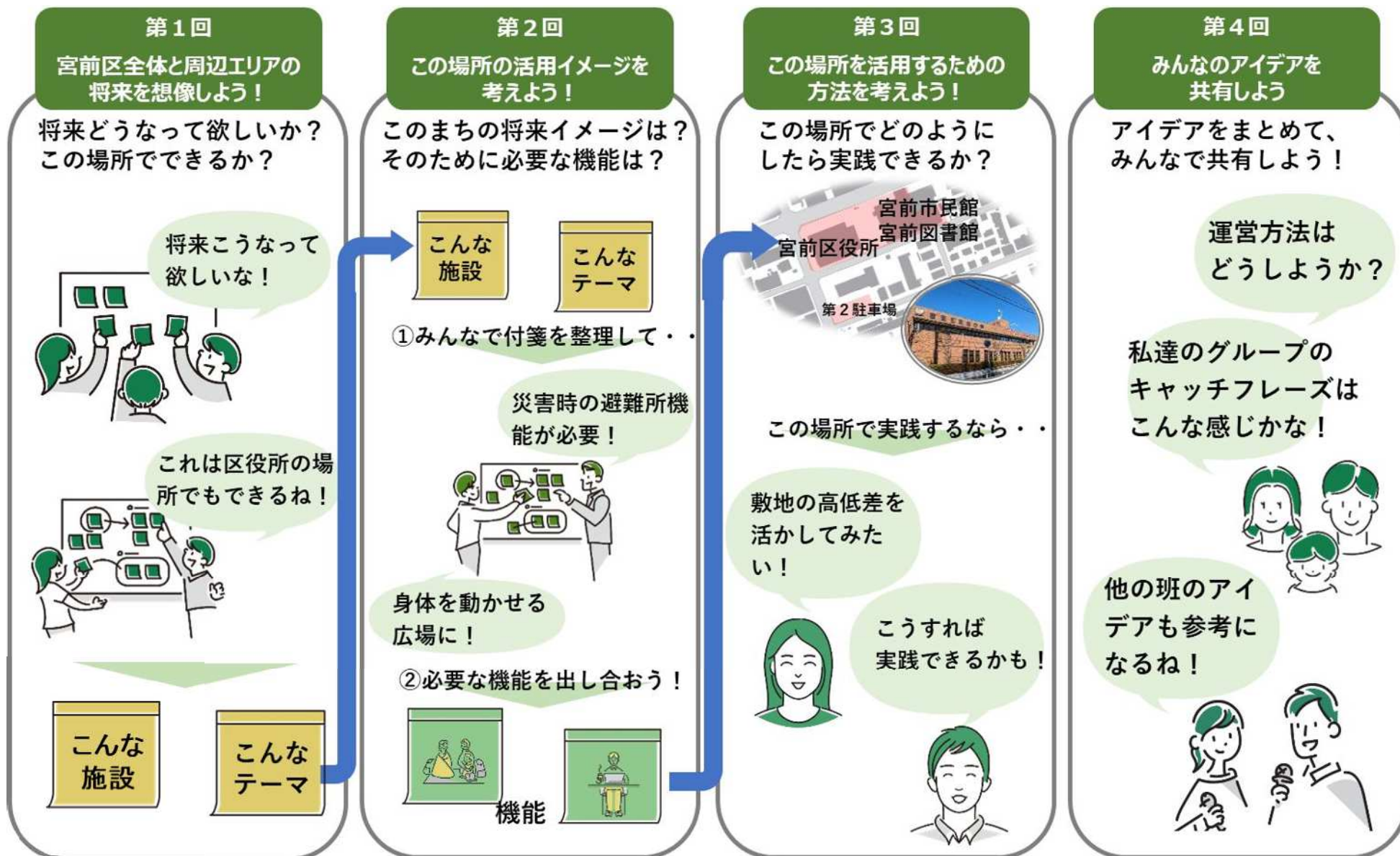
年齢構成：10歳代：11名、20～30歳代：9名、40～50歳代：15名、60歳～：13名

居住地：近隣の町内会のほか、区内各地区から参加



市民検討ワークショップについて

(2) ワークショップの流れ



第4回の結果概要



A班



キャッチフレーズ

ここなら“だれでも”〇〇できる!!
ココナラ

こだわりポイント

- ・インクルーシブ、市民参加でつくり続ける
- ・高齢者も赤ちゃんも障がい児も大人も小学生も料理も音楽もゲームもボール遊びも集まりつながる

主なキーワード

- ・鷺沼整備計画と整合！
- ・段階的に整備、流れが途絶えない
- ・遊ぶ ・運動 ・防災

主な機能のアイデア

- ・たまり場、インクルーシブの屋内広場
- ・富士山の見える展望台
- ・図書館、郷土資料館
- ・屋内施設、ダンス、楽器を鳴らせる会議室
- ・屋外の広場、アスレチック遊具

主な運営のアイデア

- ・民間企業が様々な企画、景丘の家（渋谷区の子どもと食をテーマにした地域の居場所）のイメージ



第4回の結果概要



B班



キャッチフレーズ

MIYAMA E共和国 (Republic)

こだわりポイント

- ・地域通貨(M)発行 (応援券) 皆で国を回す
- ・子どもから外国人まで 助け合いシェア♡

主なキーワード

- ・子ども ・多様性 ・文化、レジャー

主な機能の アイデア

- ・子どもや障がい者が働けるレストラン
- ・イベントを通じて外国人と交流
- ・休日保育、発達支援ができるキッズルーム、子どもが室内で運動できる(遊べる)場所、避難場所、色々なスポーツや部活ができる場所

主な運営の アイデア

- ・子どもだけで売り買いするフリマ
- ・まちの人が寺子屋の先生に



第4回の結果概要



C班



キャッチフレーズ

やってみよう! 試してみよう!
来よう!

こだわりポイント

- ・誰でも自由に集まることができる!
- ・富士山が見えるビューポイントを楽しめる建物がある
- ・今の名残がある場所
- ・体を動かす、運動ができる
- ・川崎市唯一のケーブルカー

主なキーワード

・やりたいことが集まる場 ・人と人が集まる場

主な機能のアイデア

- ・斜面を活かす、ロケットハウス等のユーモアのある遊具がある公園、芝生の公園
- ・ホール、広場（映画、ライブ、発表会）
- ・景色を楽しめる場所

主な運営のアイデア

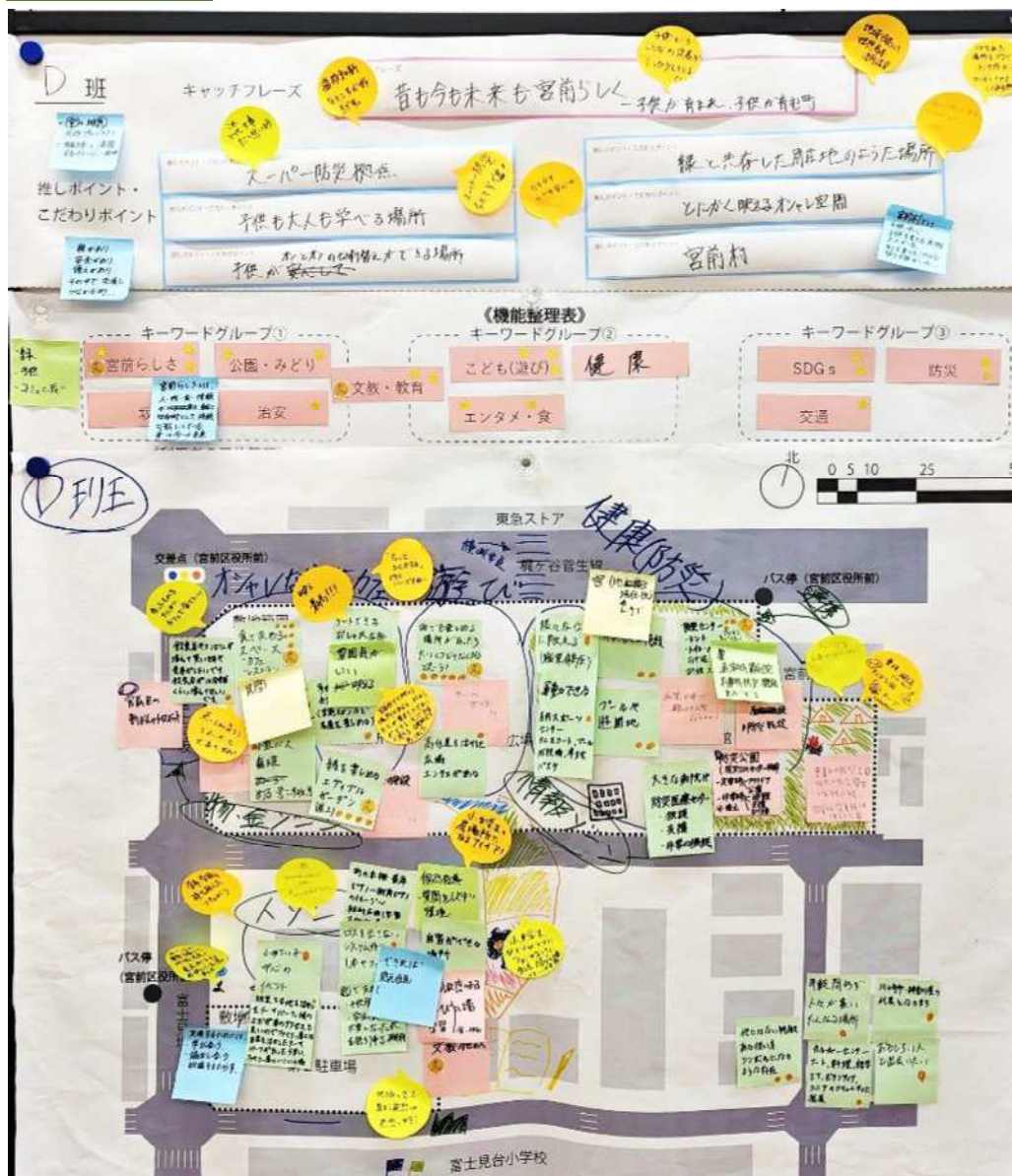
- ・坂を上るケーブルカー
- ・宮前平駅からのミニバス、ライドシェア





第4回の結果概要

D班



キャッチフレーズ 昔も今も未来も宮前らしく ～子供が生まれ、子どもが育む町～

- こだわりポイント**
- ・スーパー防災拠点
 - ・子どもも大人も学べる場所
 - ・子どもがオンとオフの切り替えができる場所
 - ・緑と共存した別荘地のような場所
 - ・とにかく映えるオシャレ空間
 - ・(子ども中心の) 宮前村

主なキーワード ・子ども(遊び) ・宮前らしさ ・文教、教育

- 主な機能のアイデア**
- ・食で交わるスペース、屋上には緑を楽しめるエディブルガーデン
 - ・防災公園 (通常: アウトドア・公園、災害時: 避難・支援)
 - ・防災センター (通常: 病院、災害時: 防災機能)
 - ・雨でも楽しめる場所

主な運営のアイデア ・地元住民と協力、ロスを出さないシステム作り



第4回の結果概要



E班



キャッチフレーズ

宮前区民のお茶の間

こだわりポイント

- ・みんなで長持ち（市民参加でまちを長持ちさせる）
- ・ミヤマエは文教地区/サギヌマは商業地区
- ・みんなの広場
- ・行けば誰かがいる
- ・地域の賑わい

主なキーワード

- ・子ども ・学習 ・交流

主な機能のアイデア

- ・情報交流の場（屋外、屋内、ステージ、広場）
- ・仕事をしながら子どもを預けられる場所
- ・富士山が見えるキャンプ場

主な運営のアイデア

- ・カフェは地域が運営、市民をまき込み掃除
- ・都市農園で収益





第4回の結果概要

F班



キャッチフレーズ

一石三挑!

～元気!安心! Enjoy!～

こだわりポイント

- ・三種の神器「健康、防災、文化」
- ・既存施設のリノベーション、リニューアル
- ・継承と発展
- ・チャレンジできる場所

主なキーワード

- ・人にやさしい ・スポーツ、運動 ・文化、芸術
- ・チャレンジ

主な機能のアイデア

- ・みんなが気軽に使える屋内広場、現施設の活用
- ・子どもも大人もリラックスできる空間
- ・区民祭などの区のイベントができる場所
- ・かまどベンチがある広場、野外音楽ができる場所
- ・プール（学校の授業や区民が気軽に使える）

主な運営のアイデア

- ・既存施設を活かしながら市のシンボルに
- ・第2駐車場を駐車場兼イベントスペースとして活用



総評



今回のワークショップのアドバイザーをお願いした 讃岐先生からの総評

このワークショップの特徴として、この場所の『敷地・特性を生かす』アイデアが出てきたこと、次に『段階的に、実験しながら』といったキーワードが出てきたこと、そしてこのまちにふさわしい機能を考えたときに『必ずしも既存建物にこだわらない』広場といった屋外空間のアイデアが共通して出てきたことが挙げられます。

社会状況・周辺状況が刻々と変化していく中で、その時点でこの場所をどう活用していくか、市民との対話を含めた『時間軸のデザイン』がこれから大切になります。

既に宮前区役所の広場で行われているイベントは、新しい対話の形の一つだと思います。こうした対話の場に市民の皆さんが積極的に提案・参画することも、新しい宮前区を『実践・実験』的に作り上げていく上で大切になると思います。



アドバイザー

讃岐 亮

東京都立大学都市環境学部
建築学科助教



(第1回ワークショップの様子)



(第4回ワークショップの様子)

第4回の様子



参加者同士で意見交換を行う様子



第4回の様子



集合写真

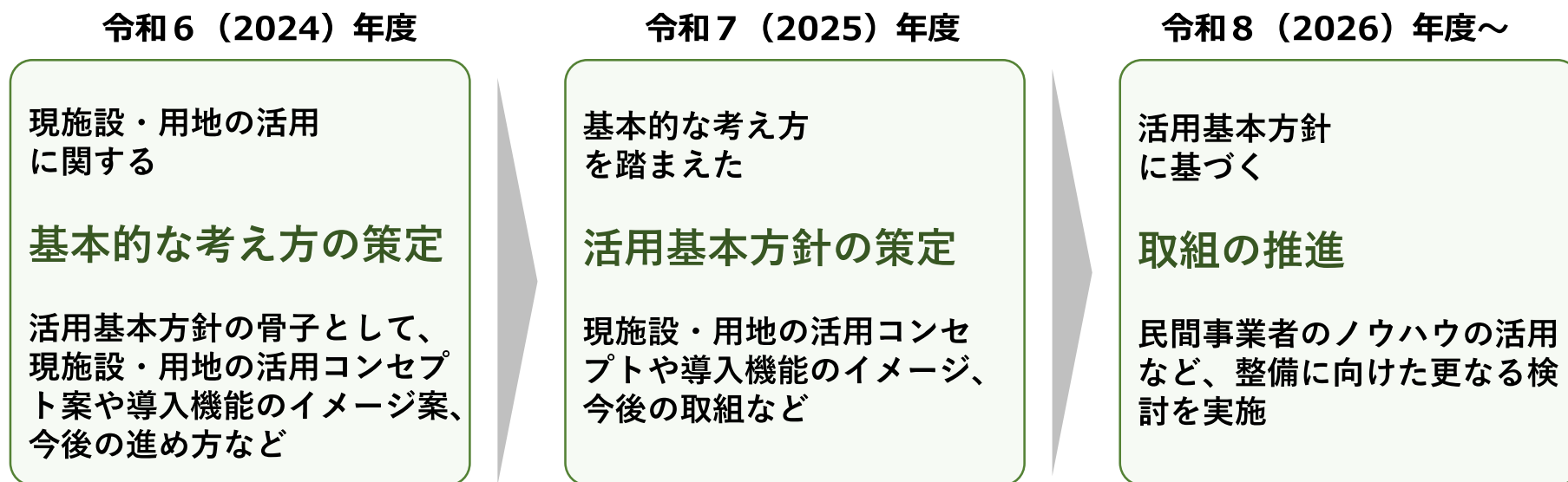




ワークショップ後の取組の主な流れ

活用基本方針の策定に向け、ワークショップの結果等を活かしながら、段階的に活用の考え方を取りまとめていきます。

令和6年度は、民間事業者へのヒアリング等を行いながら、この敷地の分析を深めることにより、地域課題やニーズを整理し、活用コンセプト案や導入機能のイメージ案など、活用に関する基本的な考え方を取りまとめる予定です。



※ 再開発事業や現区役所等の移転などの全体の取組スケジュールや、現宮前区役所等施設・用地を取り巻く環境の変化等を踏まえて、検討スケジュールを見直す可能性があります。